

令和8年 2月1日

令和7年
12月議会号

No. 84

うきは



市議会だより

一般質問って…

実は**政策提言**なんよね！

一般質問で提案しとった分、

こげんなっとなります

ただいまより、
一般質問をはじめます

CONTENTS

- 主な議案・補正予算・陳情 …… P2～P3
- 一般質問 …… P4～P7
- 委員会報告 …… P8～P9
- 特集：あの一般質問、それからどうなった？ …… P10～P11
- 市民の声 …… P12

12月定例会 12月5日～18日

主な補正予算

新たな事業や必要に応じた増減をする補正

補正予算 3億3095万円

追加/

組織改正に伴う工事費(500万円)及び一般備品購入費(100万円)	600万円
ラグビータウンプロジェクト推進事業費補助金(企業版ふるさと納税補助金より)	1,860万円
障害福祉サービス費等(施設入所増、就労支援施設利用者増による 県負担金)	8,939万円
燃油等高騰対策事業費補助金(農業施設向け 国庫補助金)	494万円
中山間地域等直接支払交付金(第6期の開始により補正、国1/2、県1/4)	814万円
道の駅法面の災害復旧工事費	444万円
橋りょう補修工事費(老朽化等の1橋 過疎債)	1,000万円
用地購入費(旧朝田団地跡地を西限上団地等の整備事業のため一般会計で買戻し)	3,557万円
※ ₁ 物価高対応子育て応援手当金(3月給付予定、全額国庫補助金)	8,600万円
西限上団地解体工事費(国庫補助金 3,690万円を含む)	8,200万円
給与等人件費(補正予算第4号と第5号の合計 人事院勧告に基づく)	7,193万円

繰越明許費補正

令和7年度から令和8年度へ繰り越す事業の限度額

総合計画書デザイン委託料	594万円
消防指揮自動車購入費(今年度契約)	1,787万円
防災行政無線システム営繕工事費	1,083万円
設計監理委託料(千年小学校の給水管取替工事)	462万円

主なトピックス

繰越明許費補正のうち
総合計画書デザイン委託料について

うきは市総合計画書は、R8から10年間の基本構想と5年間の前期基本計画を併せフルカラーで発行に係る経費です。前回に比べ費用が大きく増加しているため、データ配信などで可能な限り部数を減らすよう要望したところ、不要分を削減したいとの回答がありました。

組織改正に伴う費用について

組織改正に伴う工事費は、西別館にこどもみらい課を新設するための工事と、りり色ふるさと館への教育長室や学校教育課と教育センターの移動に伴う工事の費用です。また、それに伴い一般備品購入費が必要となります。

用地購入費について

西限上団地等整備事業では隣接する県営朝田団地跡地(H13年に土地開発基金で買入れ)を一般会計で買戻しするものです。R5年の計画当初から対象地に含まれており、PFI方式での受託企業が払下げを受けて整備することになります。

ラグビータウンプロジェクト
推進事業費補助金について

浮羽東校跡地は管理はしていますが、人工芝の整備が遅れています。委員からは「物価高で遅れるのは仕方ないが、スケジュールを示してもらいたい」、「想定よりトップリーグへの昇格が早かったためか、遠征費用等に回されているのではないかと指摘しました。市としてはライブビューイング等様々な支援をしていきたいとのことです。

主な議案

詳細はうきは市の広報をご覧ください

※1 物価高対応子育て応援手当金

(補正予算8,600万円、3月給付予定)

目的

長期化した物価高の影響を特に強く受けている子育て世代を力強く支援し、市内の子どもたちの健全な成長を応援すること。

対象

- ① R7年9月分の児童手当の対象者
- ② R7年10月1日～R8年3月31日に出生した児童の父母等

支給額

対象児童1人あたり2万円

※2 ぐくも誰でも通園制度

(R8年4月～)

目的

保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形で支援を強化するため

対象

保育園に通っていない6ヶ月～3歳未満

時間

月10時間の枠内で、1時間単位

利用料

1時間当たり300円
(R8年度以降の詳細は国から通知予定)

余裕活用型
公立4園
私立1園
(遊林愛児園)



審議結果

議案番号	件名	議決結果
報告第8号	専決処分報告(和解及び損害賠償額の決定)	
議案第82号～85号、第100号～104号	R7年度補正予算 (一般会計(第4、5号)、国民健康保険事業特別会計(第2、3号)、後期高齢者医療事業特別会計(第3号)、自動車学校特別会計(第2号)、簡易水道事業会計(第1号)、下水道事業会計(第3、4号))	可決
議案第86号	久留米広域市町村圏事務組合で処理する事務及び規約の変更 (小児救急医療関係に関する協議)	可決
議案第87号	うきは久留米環境施設組合で処理する事務及び規約の変更 (ゴミ処理から久留米市が脱退し、し尿処理だけになる)に関する協議	可決
議案第88号～92号	公共施設(31施設)の指定管理者の指定	可決
議案第93号～94号	「ぐくも誰でも通園制度」の実施のための関係条例の制定 (設備と運営の認可基準 93号、特定乳児の確認基準 94号)	可決
議案第95号～96号	児童福祉法に関連した内閣令の交付により、保育事業に関する2つの条例の一部を改正	可決
議案第97号	うきは市行政組織条例の一部を改正	可決
議案第98号	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動ビラの作成費を公費負担するように改正(大半の近隣自治体が導入)	可決
議案第99号	ネーミングライツの導入により「白壁ホール」を「タカトリグループホールディングス白壁ホール」に改める	可決
議案第105号～109号	人事院勧告に基づく市職員、特別職、会計年度任用職員、市議会議員等の給与と報酬等を改定	可決
※3 陳情第3号	陳情書(子ども食堂に対し補助金の増額等財政面の支援)	不採択

※3 陳情第3号の審査経緯 提出者 よしい子ども食堂代表 藤平伊佐男さん

市内3つの子ども食堂から共同提出された陳情ではなく、他の2カ所からの増額申請はありませんでした。申請者の所では弁当の配布や大人の利用者が多いので高齢者支援等でカバーすべきとのことから、子ども食堂の補助金増額で対応するのは不適当という意見が大勢を占め、不採択となりました。なお、物価高騰対策として採択すべきという意見もありました。

不採択

陳情第3号の賛否 不採択に賛成:○ 不採択に反対:●

議員名	欠員	高木亜希子	高松幸茂	樋口隆三	組坂公明	佐藤裕宣	野鶴修	竹永茂美	岩淵和明	中野義信	佐藤湛陽	伊藤善康	熊懷和明
案件													
陳情第3号		○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	●	○



令和7年12月議会

一般質問

うきは市行政課題と地域の

課題を質問しました



いわぶち かずあき
岩淵 和明
議員

就学援助認定基準見直しを

適切な内容に努める



教育長



岩淵

事例として示している4つの所得算定額に、ひとり親加算額と扶養控除額を加え、収入認定基準額とするよう見直しを。

教育長

周知内容における4つの事例は各家族構成を想定した一つの例を掲載しており、様々なケースを十分検証し適切な内容となるよう努める。

岩淵

援助対象要件6番目の記載を「1から5に当てはまらないが世帯全員の収入が少なく生活が苦しい場合」と改めることはできないか。

教育長

記載内容変更については適切な内容になるよう検討する。

【3歳未満児童保育料の低減を】

岩淵

市民税所得割額を基準とする階層を見直し、第3階層から第9階層の所得に対する負担低減と、「市民税均等割のみ世帯階層」の新設を図ってはどうか。

市長

保護者の世帯所得状況、その他を勘案し、うきは市が保育料を定めている。9月議会に多子世帯の負担軽減を図り、兄弟の年齢にかかわらず第3子の保育料の無償化を実施した。また、保育料だけでなく様々な施策でサポートしていきたい。保育料見直しは財源確保が前提で慎重な検討が必要だ。

その他の質問

▼物価高騰対策について



うきは市が決められる
子育て支援とは



たかき あきこ

高木 亜希子
議員

除却(解体)事業を先延ばし
しないことは重要だが
市長の考えは



施設の判別をしっかりと行いながら
計画策定後は速やかな実行に努める



市長

高木 公共施設等総合管理計画改

訂があるが、除却事業を先延ばししないことは重要だ。統合や複合化含め方向性やスピード感について、考えは。

市長 建築物延面積はH26年度からR6年度で約8%減少。浮羽町域では浮羽中敷地内に義務教育学校の建設を求める意見書を基に学校再編を進めていく予定。他もスピード感を持って進めていくため、新たな計画の作成過程で状況を把握し、将来的な面も踏まえ、延命すべき施設と統廃合すべき施設の判別を行い、計画策定後は実行できるように努めていく。

高木 各自治会公民館等の除却に

対する助成制度等の検討について、その後の進捗状況は。



老朽化し、耐震基準を満たさない公共施設を
こどもたちの世代に残して良いのでしょうか？

市長

R8年度からの助成制度の実施を目指し、行政区における施設の共同利用等の検討と、除却後の地域の継続も配慮した取組を進めたい。

その他の質問

▼移住・定住施策、職場定着支援について

▼PPP/PFI導入について



たけなが しげみ

竹永 茂美
議員

各種治水事業の
進捗状況は



巨瀬川災害復旧助成事業は市内13か所で
工事が進められている



市長

竹永 山曾谷川、美津留川、隈上川の治水事業進捗状況と周知方法及び国・県連携は。

市長 山曾谷川調整池は現在も工事が進んでいる。美津留川整備計画はないが、県に必要な場所の要望を行い、上古賀地区浚渫工事を発注してある。隈上川は既設サイフオンの撤去後、川原地区堤防、下御所橋掛替等に取り組まれる。周知方法は、関係地区へ回覧版や地元説明会を実施し、国・県連携は工事・工法、地元要望の確認後、地元調整等の協議を行っている。

竹永 小学校の通学路の整備状況は。

教育長 千年小横断歩道と路面標示再塗装。吉井小路路面標示再塗装。江南小転落防止柵、路側帯再塗装。山春小巻き込み防止ポストコーン設置。大石小路路面標示再塗装。御幸小横断歩道と路側線再舗装。なお一部は今後予定。

【通学路安全策について】

竹永 小学校の通学路の整備状況は。

教育長 千年小横断歩道と路面標示再塗装。吉井小路路面標示再塗装。江南小転落防止柵、路側帯再塗装。山春小巻き込み防止ポストコーン設置。大石小路路面標示再塗装。御幸小横断歩道と路側線再舗装。なお一部は今後予定。



災害復旧助成事業が進む巨瀬川

【障がい児・障がい者支援策について】

竹永 うきは市の車椅子が利用できる施設は。

市長 市の施設はおおむねバリアフリー化している。小・中学校は今年度校舎玄関のスロープ設置計画している。

教育長 御幸小は木製のスロープを造り、御幸小以外は体育館にスロープを設置している。



くまだき かずあき
熊懷 和明
議員

市として人口減少を防ぐための
対応策等の考えは



パブリックコメントを実施し、
市民の皆様から広く意見を伺う予定



市長

熊懷 市民の皆さんに聞いた意見

を基に、市の人口減少、少子化に
歯止めをかけるような対策を
市議会と一緒にとっていただ
きたい。

市長 具体的な政策提言、施策提

言等いただければ、ぜひ一緒に
取組を進めたい。

熊懷 保育所への0〜3歳未満児

の中途入所がなかなか難しいと
聞くが、受入れをするために保
育士の確保ができないのか。

市長 今後とも、保育士の確保も

含め、うきは市の子育て世代の
方が安心して働ける環境や子
育てしやすい環境整備に努め
たい。

【農政について】

熊懷 地区内農家は副業的兼業農

家が多く、農業機械が高騰してい
るため、共同利用推進の考えは。



いつでも入所できる保育所に！

市長 現時点で市が農業機械の共

同利用を主導していくことは、現
実に難しいと認識している。

熊懷 農業機械の共同利用の推進

のため、稲作で収穫時期の違う品
種の作付けを推奨する考えは。

市長 将来的に、地域において十分

な合意形成が図られ、用水計画や
集荷施設等の運用体制が整った
場合には、関係機関と連携し、何
らかの支援を検討したい。



ひぐち りゅうぞう
樋口 隆三
議員

地域包括支援センターの
役割と活動における課題は何か



主な支援内容は、高齢者の生活に関する
相談への対応、希望する高齢者への支援



市長

樋口 地域包括支援センターは、

どのような役割を担い、活動に
おける課題は何か。市長の見解
を伺う。

市長 高齢者が自立した生活を維

持できるよう、支援を行っている。
保健師、社会福祉士、主任ケアマ
ネージャーなどの専門職を配置
し、高齢者やそのご家族が介護や
福祉に関する相談ができる窓口
として、その役割を果たしている。

樋口 介護の課題には、介護格差、

介護崩壊等の問題解決に向け
て、取組が求められているが、対
策は。

市長 介護不足などの課題に対す

る最も重要な対策は、介護人材
の確保と育成である。介護職員の
不足は、サービスの質や安定した
提供に直結するので、給与改善や
待遇向上、研修の充実、外国人労
働者の受入れ等が急務の課題で
あると認識をしている。

【小中学校体育館の空調機の設
置について】

樋口 本年3月議会の一般質問で
小中学校の体育館に、空調設備
の設置を検討するよう要請し、
見解を頂いた。その後、変更がな
いのかどうか確認する。

市長 基本的には変わらない。3月

議会で提案をさせていただき予
定。来年度の当初予算から、空調
設備関連予算を計上していきたい
と考えている。

その他の質問

▼こども誰でも通園制度

▼防災士の資格取得について



地域包括支援センター



のづる おさむ
野鶴 修
議員

市道下の川～荒瀬線の 一部改修について

現時点においては、改良工事に着手することは困難であると考えている



市長



野鶴

県道保木～吉井線に代わる三春工業団地から杷木インターへのアクセス道路として市道下の川荒瀬線の改修工事を実施する考えはないか。全線改修となると相当の費用と時間がかかる。まずは、三春工業団地西側から約300mの間、ここをきちんと整備していただけないか。

市長

この区間は筑後川の堤防になるので、河川事業と一体的に何らかの整備ができればということと、今後国交省などに様々な要望を行っていきたい。

【浮羽研究真館高校の存続に係る支援策について】

野鶴

浮羽研究真館高校の学食は今閉鎖されている。この学食を復活させること、ワンコインで満足できるような昼食提供ができれば高校の魅力アップにつながると思う。
やはり地元で愛される高校にしなければならぬと思うが。



改修工事が待たれる市道下の川～荒瀬線の堤防道路

市長

高校との定例会議等の場を活用して、この食の問題もさることながら、食に限らず様々な問題について把握に努め、必要な支援については今後もしっかりと検討したいと考えている。



たかまつ ゆきしげ
高松 幸茂
議員

会計年度任用職員の 契約更新回数の上限撤廃について

市役所内でも様々な議論検討を行っている



市長



【職員の働き方改革について】

高松

会計年度任用職員制度開始時は更新2回の上限があった。令和6年6月28日の人事院と総務省通知で制限が削除され、自治体に任せる形になっているが、上限の見直しは。

副市長

更新回数の上限撤廃については、職員にアンケートを実施済み。人事評価の適切性の検討が前提。今後、検討していきたい。

高松

昨年度の早期退職者について伺う。

市長

定年以外の退職者は11名で、理由は移籍、健康上、家族状況等。

職員の定着率を高めるため、新規採用職員をサポートする制度（メンター制度）を導入している。



空き家対策



〈心理的安定性〉集団の中でも、自然体の自分でいられる環境

【空き家の活用について】

高松

地域との付き合いが良好ではない空き家活用例への対応について伺う。

市長

今後、どのような支援ができるのか検討したい。

高松

働きやすいやりがいのある職場なら働き続けたいと思うだろう。「心理的安定性」という新概念を提案したい。管理職研修等の中で取り組む考えはあるか。

市長、総務課長

様々な研修に取り組んでいる中でそれに資するものがあると思う。

報告 01 太陽光発電設備建設現場（経塚処分場跡地）視察

うきは市ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、温室効果ガス削減対策を実施しています。（R5～R32（2050）年度を最終目標とする。）

公共施設の再エネ化で、電力の自律化を進め、地産地消を確立し、地域内経済の循環を進める計画。現在、公共施設及び遊休地での太陽光発電設備の設置を進めています。

一方で、全国的には太陽光発電をめぐる、太陽光パネルによる地域トラブルも一部で発生しており、経塚処分場は山間地でもあり、自然災害・景観・反射光などの影響について、現地を確認する目的で実施しました。（地元説明会は実施済み）

設置場所の下流域に果樹園があり、注視する必要があると考えます。公共施設の太陽光パネル設置予定では、住宅密集地に隣接する際は、隣接市民に説明と理解醸成を図るよう行政側に求めています。



報告 02 みやま市のみかん団地造成に関する調査

みやま市で新たに25ヘクタールのみかん団地を農地中間管理機構の関連事業を使って造成中です。果樹生産地における団地化は、今後うきは市での果樹生産のあり方の検討材料や、事業に至る経緯や課題を学べると考え実施しました。

経 過

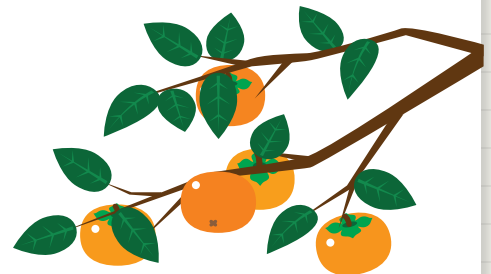
みかん団地造成は、山川町甲田地区の造成事業です。後継者がいない、耕作条件の悪い農地は廃園が多く、災害や放棄地が増加していました。

きっかけは、耕作放棄地が増加し、ブランド「山川みかん」の承継に危機感があり、H30年3月に農地中間管理機構関連農地整備事業が新設され、甲田地区が中心となり「発起人会・推進委員会」を6年かけ、72回の役員会を重ね、R4年9月末に事業が決定しました。地元甲田地区を中心に推進委員会は、土地改良区・農業委員会・JA柑橘部会・地元区長・みやま市・農林事務所・普及センター・JAみなみ筑後で構成されています。

概 要

- ① 造成事業の開発者実施主体者は「福岡県」が行い、中間管理機構が借り受け、農家に土地を売渡し、買い受け農家の面積に合わせて筆を設定する予定。
- ② 甲田地区農家数63戸の内、中間管理機構に管理権設定51戸（市外地権者は地元2名に管理権設定）が営農している。今後、造成地の事業実施は25戸が予定。
- ③ 出し手：土地は443筆（売買希望が77%、貸付希望3%、自作20%）

うきは市で、どのように持続可能な農業の経営ができるのか、基盤整備事業をどのようにしたら実現可能なのか、個人経営体では困難な課題を集団で可能か、基幹産業と位置付けるにふさわしいビジョンを持って、地域農業振興策を検討する必要があると改めて考えます。



報告 01 小学生～高校生の保護者の皆さんとの意見交換会

昨年度に引き続き、保護者の皆さんと意見交換会を行いました。
テーマは「浮羽究真館高校活性化」です。率直な意見を色々教えていただきました。

朝が弱い子どもたちも、
近い高校を選んでいきます

1. 高校選択について

こども世代

- 久留米方面へ行くのは、アルバイト先やお店が多い都会に行きたいから。
- 「先輩から」「友人の兄・姉から」など口コミの影響力が大きい。

親世代

- 「将来を見すえて、ここに行きたい!」とこども自身が選択するならば、親として応援しやすい。
- 親としては毎日のお弁当作りは大変。食堂がある学校に行ってもらいたい。
- 「多様な学び」で選択肢が増え、市内に1校なので、周辺含めむしろ選択肢が広がる。



2. 浮羽究真館高校の在校生保護者として感じているニーズ

- 部活に力を入れるならば、メニューは少なくとも良いので食堂を継続してほしい。かわいそうだ。
- 塾が少ないため、そういった「学びの場」を提供してほしい。勉強を頑張っている生徒もいる。
- 地元の中学生に魅力が伝わっていない。もっと地元からの進学率が上がると良いと思う。

報告 02 市内唯一の高校存続及び持続可能なまちづくりへ向けた長崎県松浦市の取組

長崎県松浦市は、松浦高校への財政支援にH25年度から取り組んでいます。
松浦市の取組と松浦高校の「普通科改革」について調査しました!



1. 松浦市の支援について

支援に至った経緯

H22年度に市内にあったもう1校が閉校し、松浦高校が市内唯一の高校となった。当時、長崎県から出されている「高校適正配置基準」があり、松浦高校の在籍者数が統廃合検討対象となる水準であったため、市として危機感を持っていた。「地域から高校がなくなることは、地域の疲弊に直結する」という考えのもと、市教育委員・高校関係者・市教育委員会で構成される教育懇話会が開催され、「市として支援が必要」という結果を踏まえ、松浦高校・PTA・市の三者協議を開催し、「財政支援を伴う松浦高校支援」を決定した。H25年度より財政支援を開始し、現在4期目(R5年度～)。

支援内容

第4期(R5年度～)で特徴的なものとしては、地域課題解決プログラム「まつナビ」への財政支援。元中学校長をコーディネーターとして採用し、マッチング等に活用。また、生徒の自学自習の場として「松高学び場」を開設。更にDXハイスクール支援と学校広報で地域おこし協力隊を複数名募集中(11月調査時点)。R7年度からは市・高校・通信教育ベネッセで連携協定締結してオンライン学習支援サービスを開始(生徒負担は月額1,000円のみ)。



松浦高校
支援内容

2. 松浦高校の取組について

R2～4年度
地域との協働による
改革推進事業



R4～6年度
新時代に対応した
改革推進事業



まつナビ
プロジェクトとは



地域がすでに行政主導で組織化されていたため、文科省事業へ申請するために必須なコンソーシアムの体制づくりをスムーズに行うことができています。また、まつナビでは「教員ではない人ならではのアドバイス」を聴く機会ができて、生徒にとって大変プラスとなっている。加えて、商業科生徒は地元(今までの生活圏内)に就職する子が大変多い。進学がほとんどである普通科(現在は地域科学科に名称変更)においても、生徒たちが100%進学できている。

産業や防災、まちづくりなどの分野

Q 大雨時の浸水地域に対する具体的な浸水対策は？
流域治水の進捗は？



A 筑後川水系巨瀬川流域治水プロジェクトに沿った河川改修事業を実施中。
吉井町域にて調整池整備中。



Q 消防団、人員確保のための課題は？負担軽減は？



A 消防団員R5年：456名→R6年：447名（R7現在定員500名）R4年度以降の施策は、出勤報酬の新設や、出勤時の私用車事故補償のための保険に加入するなど。団員に対するアンケートは今のところ未実施である。



更なる負担軽減に努める



Q 奨学金制度や、奨学金返済支援制度は？



A 奨学金を返還する市内在住30歳以下の若者に5年最大120万円補助！
更に市外通勤者にも対象拡大、5年最大60万円！

＼年々増加中！！／



Q 今後も持続可能な農業にするための支援が必要では？



A 国や県の支援事業を実施し、対象とならない部分やすきまを埋める支援を行う

Q 耕作放棄地対策は？



A ①農地の所有者から担い手へつなぐ、貸借のあっせんを推進していく。②農地を山に戻すという課題も見えてきた

前市長

直近2か年の実績は？
売買成立R5:66件→R6:71件、
賃借権設定計R5:560件→R6:690件



Q 人口減少が進むうきは市で、上水道は本当に整備する必要があるの？



A フル整備にはこだわらない。実現可能な方策について検討していく

Q 今後の公共施設はどうする？どうなる？（特に質問の多い施設は…市民ホール、歴史資料館など）



Q 道路の安全策は？
拡幅は？



A 通学路は安全対策としてカラー舗装や路面標示を施工（一部予定）。
県道749号線の課題は把握。取組中の事業完了後に整備を求めていく。
山北の国道210号線百堂坂交差点改良計画は設計が進められ、今後、安全な整備が行われる予定。



A R8年度に次期公共施設総合管理計画を策定する予定。



予防保全型の維持管理は継続しつつ、延命すべき施設と統廃合の対象となる施設の判断が重要。市民の意見も聞いていく。

特集!!

＼という名の…実は**政策提言!!**／

あの一般質問、それからどうなった？

議員が行う一般質問では、日々の議員活動や市民の皆さんからいただいた意見をもとに政策を提言しています。現市議会メンバーでどんな分野に対してどんな一般質問が繰り広げられたのか、そしてそれはどのように市政に反映されたのか、途中のもの、進捗なしのものも含め、確認してみました！

定例会・年4回 令和4年6月議会～

こども・子育て・教育の分野

Q 浮羽中学校の老朽化に対しての取組を進めないのか？今後の浮羽町域の学校は？



A うきは市立小・中学校のあり方検討委員会(全体会・部会)での協議、説明会、アンケート、ワークショップを経て、検討委員会から市及び市教育委員会へ意見書が提出された。

意見書は…「浮羽中学校敷地内に3小学校1中学校をまとめた新たな施設一体型の義務教育学校を」



Q 要望が多い「まちなかの公園や広場」は、作るの？作らないの？



A 内容を充実させる公園と廃止を検討していく公園を選別。吉井百年公園でPark-PFI(民間事業者が整備・運営する「公募設置管理制度」の通称)を導入している。



R8年度に行われる公共施設等総合管理計画の見直し時点で、しっかりと検討していきたい

福祉の分野

Q 介護福祉、入所待機の人が多いけれど？介護度が低い人はどう？地域支援は？そもそも介護人材足りてないけど、資格保有者確保のためにどうする？



A 入所できない方にはケアマネージャーがケアプランを作成し、在宅生活支援を実施。在宅生活が困難な方には、ショートステイやデイサービスを中心に、短期間の宿泊、自宅への訪問を組み合わせた「小規模多機能型居宅介護」などで入所待ちの期間を支援。介護の担い手不足の解消としては、①『一人一人、介護予防』に取り組み、健康寿命を延伸すること②外国人介護人材の雇用支援などに取り組んでいる。



要望や疑問って、市政に届いてるのかな？
最近の施策に何かしらの形で反映されているのかな～？

反映されているもの、そうではないもの、様々あると思います。ここに掲載した項目以外にも、たくさんの質問が出されていました。議員によって特に注力している分野も様々です。現在のメンバーでは最後の定例会となる3月議会に、ぜひ注目してみてください。



市民の声

母は北海道で父は京都、私は東京生まれの神奈川県育ち、うきは市には全く縁がありませんでした。しかし子ども時代からのアトピー体質を治したくて温泉療法のために吉井町に移住してもう20年がたちます。

泉質の良い温泉や雄大なめずらしい形の耳納連山、筑後川の西に沈む大きな夕陽・澄んだ空気、夜空の暗さと美しさ。何よりも地下水の美味しさに驚きました。沢山ある道の駅や直売所。そして良い意味でお世話焼きな愛すべき方々のお陰で仕事も夫も見つかりました。今は家族5人と柴犬と健康に暮らしています。住んでいて思う事は、子育てサークルやママ友として仲良くなった家族が子どもの学校や仕事の選択でう



浅田 幸子さん
吉井町千年校区在住

※1「さす九離婚」とは、九州出身の夫（「さす九」=さすが九州）によるモラハラ（精神的虐待）が原因で、離婚に至ることの略称。

きは市から引越していかれる方が多いことです。『九州男児の本場でさす九』という褒め言葉でない『さす九（きゅー）離婚※1』があることも残念です。

前回のうきは市長選挙では権藤市長はじめ各候補者のユーチューブ動画を視聴したことをきっかけに政治家本人の意見がしつかり聴けるSNSで情報を得ることを重視しています。ドラマより国会答弁の方が面白いのです。

小さなうきは市から大きなアンテナを張って、大好きなうきは市を未来の子ども達に安心して渡していくことが、行政に強く求められていると思います。

議会を傍聴しませんか

3月議会定例会は

2月27日(金)開催予定です。

一般質問は

3月2日(月)

3月3日(火)

の予定です。



Youtubeのライブ配信と録画配信もぜひご覧ください。

3月議会への請願書・陳情書は、2月17日(火)正午(予定)までに提出してください。

表紙紹介

広報委員会の現メンバーで定例会に臨むのも次回3月議会が最後となります。

3月議会号では予算特別委員会があつてページを取ることが難しいので、12月号の特集として今期の一般質問の主だったものをまとめてみました。

一般質問を政策提言として捉えると、各議員の視点の違いがわかり、傍聴や動画配信がもっと面白くなるかもしれません。ぜひご覧ください。

編集後記



12月議会では、物価高対応子育て応援手当金事業や燃油等高騰対策事業など、また、R8年度から始まる「こども誰でも通園制度」に伴う条例制定など、市民生活に直結する議案等について審議が行われました。厳しい社会情勢の中、限られた財源をどのように活かし、市民一人ひとりの安心につなげていくのか、議員それぞれが課題意識をもって議論を重ねました。

市議会だよりは、議会で何が話し合われ、どのような判断がなされたのかを市民の皆さまにお伝えする大切な役割を担っています。ぜひ紙面に目を通していただき、身近な市政への関心を深めるきっかけとしていただければ幸いです。今後開かれた議会を目指し、市民の声を市政に反映できるよう努めてまいります。

(組坂公明)

発行責任者

議長 江藤 芳光

広報広聴委員会

委員長 熊懷 和明

副委員長 組坂 公明

委員 岩淵 和明

竹永 茂美

高松 幸茂

高木 亜希子

議会事務局

TEL. 75-4990

FAX. 75-3342